

図2 搬送者の程度別人数と割合

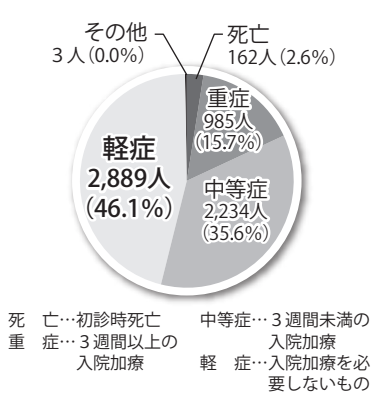
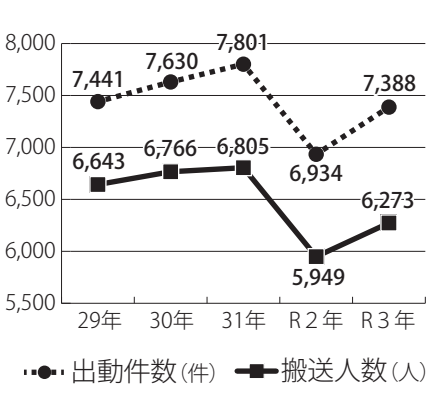


図1 出動件数・搬送人数



令和3年中に帯広消防署の救急車が出動した件数は7388件で、そのうち、病院に搬送された人は6273人でした。前年に比べ、454件、324人の増となりました(図1)。搬送者を傷病程度別で見ると、軽症者が約半数を占めています。(図2)

救急車の適正利用に、ご理解とご協力をお願いします。



救急車は地域の限られた資源です

令和3年中の救急出動状況

問い合わせ 帯広消防署救急課 (西6南6、消防庁舎1階、☎26・9132)

救急出動件数の増加

こんなときは迷わず119番へ

顔色が悪く呼吸が弱い、突然の激しい頭痛や胸痛を訴えているなどの状態は、生命に危険がある可能性があります。このような場合は、ためらわずに119番通報してください。

救急講習に参加しませんか?

帯広消防署では毎月3回、定期救命講習を開催しています。

4月開催分は、「帯広市からのお知らせ」(12頁)をご覧ください。なお、定期開催以外の受講希望は、救急課へ問い合わせください。

休日や夜間などの医療機関が知りたいときは

帯広市急病テレホンセンター

☎26・1099

北海道救急医療情報案内センター

☎0120・20・8699

携帯電話からは

☎011・221・8699

表2 主な出火原因

順位	出火原因	件数
1位	たばこ	各3件
	こんろ	
	電灯・電話等の配線	
2位	電気機器	各2件
	配線器具	

表1 火災発生状況

	令和3年	令和2年	増減
火災件数(件)	44	32	12
建物火災	27	23	4
住宅	15	16	▲1
事業所など	12	7	5
車両火災	7	3	4
林野火災	2	0	2
その他火災	8	6	2
野火	2	3	▲1
工作物など	6	3	3
死者(人)	3	4	▲1
負傷者(人)	3	8	▲5



火災から命を守るために

令和3年中の火災発生状況

問い合わせ とかち広域消防局予防課 (西6南6、消防庁舎3階、☎26・9124) 担当課帯広市総務部消防課

1年で44件の火災が発生

令和3年中に帯広市内で発生した火災は44件でした。前年と比べて12件増加しており、住宅火災が多く発生しています。(表1)

出火原因の1位はたばこ、こんろ、電灯・電話等の配線でした。火災の多くは生活に身近なものが原因で発生しています。(表2)

住宅火災で多くの死者が発生

全国の令和2年中の火災による死者数は1326人で、そのうち住宅火災による死者(放火自殺を除く)は、899人でした。

住宅火災で大切な命や財産をなくさないため、4つの習慣を心掛けましょう。(左図)



住宅防火命を守る

4つの習慣



- ◆寝たばこは絶対にしない、させない
- ◆ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ◆こんろを使うときは火のそばを離れない
- ◆コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

ストップ!! 住宅火災!!

住宅用火災警報器を設置・点検していますか?



設置の義務があるよ!!
①寝室
②階段
(寝室が2階にある場合)

住宅用火災警報器は火災をいち早く知らせ、大切な命を守ってくれます。帯広市では平成20年6月1日から設置を義務化しています。



☆作動確認の仕方☆
ボタンを押す!またはひもを引く!



音が鳴らない場合は、取扱説明書をご覧ください。



②住宅用火災警報器の訪問調査

住宅用火災警報器の設置状況の把握や普及啓発のため、無作為に抽出した住宅を対象に、訪問または調査票を投函します。ご協力をお願いします。

※新型コロナウイルスの感染状況によって中止する場合があります。

日時 4月24日(日)、10時〜12時
場所 柏林台出張所(柏林台西町2)

①林野・野火火災の注意喚起

春は空気が乾燥し、風が強くなることから、林野・野火火災が増加する可能性があるため、注意喚起のポスターやチラシを配布します。

④古くなった消火器の有料回収

北海道消防設備協会帯広支部の協力により、古くなった消火器を有料で回収します。回収費用はサイズによって異なります。詳細は問い合わせください。

③要配慮者世帯の防火訪問

期間中、消防職員、女性消防団員が一人暮らしの高齢者世帯を訪問し、火の取り扱いについて注意喚起します。



おうち時間家族で点検火の始末

春の火災予防運動

問い合わせ 帯広消防署指導課 (西6南6、消防庁舎1階、☎26・9131)

4月20日〜30日は春の火災予防運動期間

帯広消防署では、防火意識向上のため、期間中にさまざまな取り組みを行います。